

● 総 説 ●

[シリーズ: 移植医療と組織適合性]

第 1 回

臓器移植と MHC

水谷 一夫

Terasaki Foundation Laboratory

要約: 主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) は臓器移植の発展と大きな関わりがあり, MHC の作用の解明や検査方法が発見されなければ臓器移植がこれほど一般的な医療となることはなかったと考えられる。MHC はヒトでは HLA と呼ばれ, 免疫応答をつかさどる遺伝子座として定義される。移植に関係する HLA 遺伝子はクラス I, II 遺伝子に大きく分類され, 現時点でもそのアレル数は増加し続け, その働きがすべて解明されたわけではないのが現状である。この多型性をもつ HLA が臓器移植の拒絶反応を引き起こすため HLA の型を適合や抗 HLA 抗体を調べることは臓器移植にとって重要であり, 今後の更なる研究が期待される。

キーワード: MHC, HLA, Anti-HLA antibody, Organ Transplants